

事例3

< 事例概要 >

大腿骨接合術（再手術）

- ① 90 歳代、体重40 kg 台、脳梗塞、大腿骨転子部骨折に対する骨接合術後の患者。抗血栓薬内服中（休薬なし）。
- ② 骨接合術後の骨頭穿破に対し、骨接合術（ラグスクリューの入れ替え）を施行。
- ③ 癒着化が顕著で内固定材抜去に時間を要した。血圧70 mmHg台となり、昇圧薬を持続投与。Hb 6g/dℓ 台、術中出血量約1,140 mℓ。術直後に赤血球液をオーダーしたが他の地域からの取り寄せとなった。退室時血圧140 ～ 150 mmHg台、心拍数不明。
- ④ 病棟帰室後、足趾チアノーゼと末梢冷感あり、昇圧薬の持続投与を開始。約1 時間後、Hb 3 g/dℓ 台、血圧50～ 60 mmHg台、大腿腫脹と内出血あり、チアノーゼ拡大。約2 時間後、血圧測定不能、下顎呼吸となり、気管挿管。約4 時間後、赤血球液投与。創部から約200 mℓ 出血あり、帰室約7 時間後に死亡。
- ⑤ 死因は、出血性ショック。死亡時画像診断（Ai）無、解剖無。